

**文具知識能力検定**  
 受験料無料  
 いま始める 文房具の最強検定  
**第19回Web本試験実施日**  
 2026年4月17日(金) 午前10時～  
 2026年4月20日(月) 午後5時まで  
 (この期間中にログインしてください)  
 トレーニングページは、4月1日(水)から4月16日(木)までWebで開講  
 (受験会場) インターネット環境が完備 30分 30歳以上 (40歳以上) 受験料 2000円 (受験料に受験料が別途発生) 受験料 2000円 (受験料に受験料が別途発生)  
 (受験科目) アドバンス(検) クラウド(検) コピー(検) ショーケース(検) デイジー(検) コピーコントロール(検) LIGHT LAB. (50分)

文具業界の活性化と文房具ファン拡大を目的に、有志4社(紙製品新聞社、全日本文具新聞社、日本文具新聞社、メイ)

### 文具検定の本試験

4月17日～20日まで実施

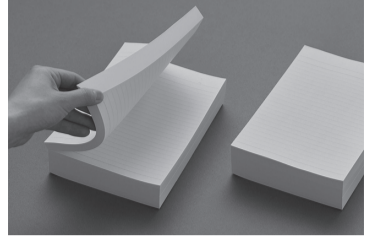


黒田社長(左)とクラブリの受賞者  
 コクヨデザインアワードは毎回、世相を反映するテーマで作品を募集し、優

コクヨ株式会社(黒田英邦社長、東京都)は、3月14日にプロダクトデザイン国際コンペティション「コクヨデザインアワード2026」の最終審査会ならびに表彰式と審査員によるトークショーを開催、その模様をYouTubeでライブ配信した。  
 第23回目を迎える今回は「波紋」をテーマに作品を募集、国内外60カ国・合計1344点(国内785点、海外559点)の作品の中から一次審査を通過した10点を対象とし、最終審査を行い、クラブリ1点と優秀賞3点を決定。クラブリと優秀賞受賞者には、一石を投じることで起きた波紋を閉じ込めたトロフィーと、メインビジュアルの一石を投じる石たちを一枚一枚異なるデザインを採用した表彰状が授与された。  
 コクヨデザインアワードは毎回、世相を反映するテーマで作品を募集し、優

### グラン「ノートの素」

コクヨデザインアワード2026  
 60カ国から1344点応募



クラブリに輝いた神成絅樹氏「ノートの素」

れたプロダクトデザインを選定するのみならず、受賞作品については受賞者とコラボ開発者の共創で製品化を行い、これまでに生み出された製品の数は20点を超えている。生活や仕事に身近な道具に新たな息吹を吹き込むデザインを、確かな製品として世に送り出すことで、デザイナーの今後の活躍を後押しし、同時に同社のパーパスで掲げる「ワークワクする未来のワークとライフ」の創造を目指している。  
 受賞作品の詳細は次の通り。  
**【クラブリ】(1作品)**  
 神成絅樹氏「ノートの素」(糊付けし、背固めした中紙の束。量と表紙の選定をユーザーに委ね、ノートになる少し前の姿に戻すことで、量産性とパーソナライズの両面を受容するプロダクト)  
**【優秀賞】(3作品)**  
 東出和士氏「g(グラム)」(形や素材を変えず、重量だけを繊細に調整したペンシリズ。重さという一点に焦点を絞ることで、自分でも気づいていなかった

### 1200点が応募

第35回全日本アートサロン 絵画大賞展表彰式

全日本アートサロン絵画大賞実行委員会(西村貞一実行委員長)が主催するアートサロン「第35回全日本アートサロン絵画大賞展」が、長と産経新聞社が主催、サクラクレパス、ターレックスジャパン、サクラアートサロン、アムスが共催する平面絵画を対象とした全国規模の公募展「第35回全日本アートサロン絵画大賞展」の表彰式が3月7日、大阪市中央区森ノ宮のサクラクレパス本社1階サクラアートミュージアムで開催された。  
 当日は、主催者を代表して西村実行委員長が「この絵画大賞は、サクラクレパス創業70周年の記念行事の一環として、一度限りのものとして行ったが、折角やったのだからということで産経新聞社の共催で回を重ね今回で35回目を迎えた。今後も継続していき

た感覚が静かに浮かび上がる体験をもたらす) 塚本裕仁氏「緑で見分けるノート」(見分けたいけど揃えたい)を叶える、表紙の縁に小口染めを施した真っ白なノートシリーズ。必要最小限に引き算されたこのノートは、視界を静かに整え、学びや創作への集中を促す)  
 五十嵐瑞希氏・瀧澤樂々氏「うつろう手帳」(罫線がなく、白とグレーのグラデーション(うつろい)のみで日々を分けている。これにより、書き手は予定の量に応じてエマスの大きさを自分で決めることができ、日を跨ぐ予定もつながりを感じながら書き込むことができる)



①表彰式での受賞者との記念撮影②大阪会場

いが、作品応募があつたそのものであり、大賞を受賞された人も再チャレンジして欲しいし、知人にも告知、作品応募を勧誘して欲しい」と祝辞を交えて挨拶した。  
 続いて大阪市立美術館名誉館長・篠雅廣氏の審査員講評のあと、表彰式に移り、文部科学大臣賞のアカリル画「えび男」(ひでみりこ氏)はじめ、自由表現部門と写真表現部門の大賞、特別賞、優秀賞をそれぞれ顕彰した。  
 ①表彰式での受賞者との記念撮影②大阪会場  
 今回は、約900人1200点の応募があり、大賞、特別賞など合計830点の入選作品が選ばれた。  
 展覧会は、東京展が2月5日から16日、国立新美術館で、大阪展が3月3日から8日まで新装開館となった大阪市立美術館で開催された。また、地方展として岡山、愛媛、広島、宮城東北、北海道、福岡で順次開催される。

### 国際女性デー 記念イベント

株式会社パイロットコーポレーション(藤崎文男社長、東京都)は、国連の制定する「国際女性デー」を記念し、3月10日に東京都中央区の戸田ビルディングで、戸田建設とコスモエネルギーホールディングスの3社共催による講演会イベント(写真)を開催した。当日は、オンライン(会場)とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で行い、3社の社員と関係者約290人が参加した。  
 講演会では、紛争地での兵士の武装解除を専門としている認定NPO法人REALs・瀬谷ルミ子理事長の話しを聴講した。  
 講演後は、同社執行役員

### 健康経営優良法人に

コクヨ、ダイコー、パイロット、ニチバンなどコクヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)と、株式会社カワネット(宮澤典友社長、東京都)は、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に8年連続9年度、コクヨマーケティング株式会社(石井健一社長、東京都)が同部門に7年連続で

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOO